



東京地区生コンクリート協同組合
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号
電話番号 (03) 3271-2181
URL:https://www.t-namakyo.jp/
発行責任者 高村 尚

＝協組の動き＝

(11月)

11日(月) 理事会(No. 1110)
25日(月) 理事会(No. 1111)

(12月)

9日(月) 理事会(No. 1112)
23日(月) 理事会(No. 1113)

2020年新年賀詞交歓会

日時:1月6日(月)
12時～

場所:第一ホテル東京
東京地区生コンクリート協同組合



忘れるな

ルールがあること 守ること

高い意識で安全作業

八洲コンクリート(株)

2019年度 上期実績と下期見込

東京協組の2019年上期の出荷実績は、1,421千 m^3 となり年初計画比81.2% 前年比81.1%と前年及び年初計画に対し大きく割り込みました。この低迷は、2016年度中に契約した東京五輪・パラリンピック向けの競技場・選手村などの関連施設向け需要が概ね終了しホテル関連の需要も峠を越えたことが挙げられます。また、当初見込まれていた再開発工事向けの出荷が伸長しない背景として台風・豪雨被害の影響やオリンピック・パラリンピック開催期間中の施工不安から、施工者が工程調整をしていることが考えられます。下期に入り10月については、これ迄の出荷推移及び杭工事の状況からして需要の底を打ったものと思われる。

一方、上期の引合数量は、1,242千 m^3 (前年比255.0%)、割決数量は、1,031千 m^3 (前年比243.9%)と増加しており、9月末の契約数量残高は、2,492千 m^3 となっています。10月度の割決数量は、310千 m^3 (前年比405.6%)とさらに増加しており、新たな再開発案件が見えてきており、下期以降の出荷数量は復調するものと期待しています。

さて、前月号でもお知らせしましたが、2020年4月以降の引き合い受付分より、“生コン価格の改定”を実施します。これまで各組合員は様々なコスト削減に努めてきたものの、ここに来て、骨材における品代並びに輸送費、生コン輸送費、働き方改革への対応などに関わるコストが大きな負担となっているのが現状です。これに加え、“祝祭日出荷特別割増料金及びキャンセル料の改定”、“戻りコン有償化における取消料の改定”も、同年4月1日出荷分から実施いたします。現在、担当理事によるゼネコンへの要請活動を実施しています。組合員団結のもと、満額獲得すべく鋭意努力していきましょう。

2019年度 実績(4～10月)と当初計画 (m^3)

月	2018年度実績	2019年度	前年比
4	326,843	267,635	81.9%
5	302,730	237,640	78.5%
6	320,830	260,518	81.2%
7	307,441	262,421	85.4%
8	239,874	190,770	79.5%
9	254,428	201,853	79.3%
上期計	1,752,146	1,420,837	81.1%
10	330,600	219,338	66.3%
11	338,520	290,000	85.7%
12	308,429	290,000	94.0%
1	252,899	250,000	98.9%
2	281,407	290,000	103.1%
3	291,412	290,000	99.5%
下期計	1,803,267	1,629,338	90.4%
年度計	3,555,414	3,050,175	85.8%

※19年11月～20年3月は年度当初計画数値

コラム

高村 尚



本年5月の東京協組定時総会において専務理事に就任致しました高村と申します。微力ながら当協組の運営に鋭意取り組んで参る所存でありますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

まずは自己紹介をさせていただきます。私は1958年生まれで社会人になるまでは東京都目黒区内を転々と移り住んでおりました。子供の頃は軟式野球に勤しんでおりました。目黒区内の中学校に入学後は軟式野球部の初代創設メンバー(全員1年生)に加わり、校内のグラウンドが手狭で打撃練習は多摩川の河川敷のグラウンドを借りて行い、対外練習試合は常に相手校でのアウターというハンディは有りましたが、下級生の後輩も入部する中で部活を続けておりました。その後、卒業した中学校の生徒数が現在までの間に大幅に減少していることもあり、既に軟式野球部は廃部になっておりますが、創部当時の監督の先生(我々が担ぎ出したクラス担任の体育の教師)や同期のメンバーとは今でも親交が続いています。

さて仕事の話に移りますが、会社に入社後の現在に至るまでの勤務地を順に申し上げますと、仙台→東京→大分→東京→名古屋→広島→福岡→東京

ということになります。この内、広島と福岡では何れも生コン会社の代表者として勤務し、本年5月まで通算8年間は広島協組と福岡協組の組合員理事の立場でそれぞれの協組共販事業に携わっておりました。とは言え、地方の生コン市場と異なり首都圏では複数の協組に加入している工場が多数存在することもあって、現職場に赴任した当初は戸惑いながら仕事を進める場面も多々ありました。そもそも東京協組の共販対象エリアが東京都23区全域と思い込んでいた為、それが実際は17区であることや、私が生まれ育った目黒区が玉川協組の共販対象エリアになることも初めて知った次第です。

東京協組は言うまでもなく全国の中心協組として関係各方面からの注目度も高く、メディアに採り上げられる機会も地方とは比較にならないほど多いことを現職務に就いて痛感しております。それだけに様々な取り組みへのクイックレスポンスを求められることも多く、気を引き締めて職務遂行に当たりたいと思いますので、今後とも諸事ご意見賜りますようお願い致します。

(東京地区生コンクリート協同組合 専務理事)

		(出荷数量)		(引合、成約、契残)	
		10月(実績)	11月(想定)	10月(実績)	
		前年比	前年実績比	前年比	
大型	186,162 m^3	63.3%	180,000 m^3	59.2%	引合 356,217 m^3 392.7%
小型	33,176 m^3	90.9%	30,000 m^3	87.5%	成約 309,797 m^3 405.6%
計	219,338 m^3	66.3%	210,000 m^3	62.0%	契残 2,590,827 m^3 67.7%

東京生協ニュース: まど
2019年度上期 周辺協組出荷実績

(m³,%)

	東京		東関東		三多摩		玉川		神奈川		埼中		千葉西		千葉中		千葉北		合計	
	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比
4月	267,635	81.9%	25,661	64.7%	87,238	111.9%	57,593	107.2%	135,249	105.1%	127,561	99.7%	66,002	95.6%	43,447	145.5%	25,732	82.2%	836,118	94.5%
5月	237,640	78.5%	26,485	78.6%	78,918	113.7%	52,836	108.6%	113,007	85.5%	119,032	87.3%	55,484	88.5%	37,224	133.8%	19,163	53.2%	739,789	87.1%
6月	260,518	81.2%	33,122	85.9%	89,664	105.3%	56,316	103.5%	121,939	93.5%	126,572	74.6%	51,332	77.3%	44,028	171.2%	19,736	57.4%	803,227	86.8%
7月	262,421	85.4%	39,946	108.4%	93,741	121.2%	59,443	107.8%	127,869	101.9%	142,387	80.8%	48,034	83.4%	37,856	147.6%	21,377	76.5%	833,074	93.6%
8月	190,770	79.5%	36,060	109.4%	72,081	112.6%	42,745	72.9%	113,040	104.3%	110,321	90.0%	45,864	86.8%	33,572	126.3%	18,174	91.3%	662,627	91.3%
9月	201,853	79.3%	47,053	170.3%	77,284	107.5%	51,428	94.7%	128,997	99.7%	116,677	94.7%	67,048	109.1%	36,513	108.6%	29,660	133.4%	756,513	97.2%
上期計	1,420,837	81.1%	208,327	99.5%	498,926	111.9%	320,361	98.6%	740,101	98.1%	742,550	86.7%	333,764	90.2%	232,640	137.5%	133,842	77.9%	4,631,348	91.6%

2019年度 年末年始休業日一覧表

工場名	2019年12月				2020年1月					工場名	2019年12月				2020年1月				
	28 (土)	29 (日)	30 (月)	31 (火)	1~3 (水~金)	4 (土)	5 (日)	6 (月)	7 (火)		28 (土)	29 (日)	30 (月)	31 (火)	1~3 (水~金)	4 (土)	5 (日)	6 (月)	7 (火)
権木生コン										桐生レミコン									
城北小野田レミコン	(プラント増設工事の為 12/28~1/13迄 休業)									内山アドバンス 城南									
豊川興業										関東宇部コンクリート工業 大井									
横山産業 川口										東京湾岸産業									
関東コンクリート										宮松エスオーシー リンかい									
八洲コンクリート										川崎徳山生コンクリート									
内山アドバンス 草加										神奈川葦光コンクリート									
日立コンクリート 戸田橋										第一コンクリート									
埼玉エスオーシー 戸田										川崎宇部生コンクリート	(引出しベルトコンベア工事の為 12/28~1/9迄 休業)								
柳下生コン										内山アドバンス 川崎									
横山産業 大和	(引出しベルトコンベア工事の為 12/28~1/13迄 休業)									神奈川秩父レミコン									
芹澤建村										溝口瀬谷レミコン									
東京コンクリート 久留米										多摩									
三多摩7サ/コンクリート										大角									
尖戸コンクリート工業										関東宇部コンクリート工業 溝の口									
むさしの生コン										宮松エスオーシー 川崎									
武蔵葦光コンクリート										日本強力コンクリート工業									
内山コンクリート工業										東京トクヤマコンクリート									
東京葦光コンクリート										関東宇部コンクリート工業 豊洲									
東京エスオーシー 芝浦										吉田建村 若洲									
関東宇部コンクリート工業 品川										吉建エスオーシー 新砂									
青木コンクリート										上隅レミコン 東京									
井口生コンクリート工業										東京コンクリート 砂町									
河島コンクリート工業										東京エスオーシー 業平橋									
鈴木コンクリート工業										内山アドバンス 第二									
大効コンクリート工業										内山アドバンス 第一									
トウザキ										関東宇部コンクリート工業 浦安									
協組事務局										市川 葦光									
										東京エスオーシー 市川									
										船橋レミコン									
										日立コンクリート 新砂									
										松戸生コンクリート									

わが社のイメージアップ

埼玉エスオーシー株式会社

「わが社のイメージアップ」というテーマの中で当社が既に取り組んできたこと、または今後、取り組んでいきたい事柄についてご紹介させていただきます。

まず、当社は4年前に日立コンクリート(株)と生産工場を統合し二つの工場職員が一緒になり、一つの目標に向かい、日々、安全第一を掲げ、品質・設備・輸送に十分配慮をおこない、多種多様化に対応できるよう取り組んでいるところであります。

過去、当工場のイメージアップの一環として、近隣小学校からの職場見学を受入れ、簡単な工場内の見学、ミキサー車の運転席に座ってもらうなどの体験してもらいました。その中でもミキサー車に乗れるということはやはり興味があったようで、特に男の子は目を輝かせて体験していました。そのような子たちが大人になったころには生コン工場のイメージも良くなっていることを期待し、またそのようにしていかなくてはいけないという使命感をもって日々努力が必要であると考えています。

冒頭で述べた通り現在当工場は日立コンクリート(株)と生産工場を統合し日々、安全第一を掲げ、品質・設備・輸送に十分配慮を行い生コンクリートの生産に取り組んでおります。この体制になり、約4年が経ちましたがこれまでの4年間は別々の会社社員が突然一緒に仕事をしていくにあたり、色々な壁が出てきました。その中でも遠慮という二文字が非常に高い壁だったように感じます。仕事は楽しく、また厳しくそして協調性をもって、



皆が作業に努めていくことが基本となります。しかし、この「遠慮」というものを各自が持っているとな不安行動にも繋がります。日々、安全第一を掲げ、品質・設備・輸送に十分配慮をおこない、多種多様化に対応できるよう取り組んでいるところであります。

現在4年目に入り「遠慮」という壁は徐々に薄れ、色々な意見提案が出るようになり、色々な事が良い方向に進んでいると思います。

今後、生産現場および輸送現場で取り組んでいきたい事柄は、近隣にある学校(小中学校)に職場見学・体験を提案し工場を見てもらうことにより、イメージアップを図りたいと考えています。体験・見学者が工場へ来るということは、挨拶、整理整頓等に常に気を使わなければならず、生コン工場に対するイメージアップにつながると思います。

また、現在プラント内で働く女性社員および、アジデーター運転手の皆さんが日々、安全で働き甲斐のある環境を作り女性用の休憩室を設けるなど、女性社員の働きやすい環境作りもおこなっております。

最後に、所員全員が明るく、そして規律を持って作りだす、生コンクリートが、色々な所で社会的基盤となり街づくりには欠かせないものとして、今後も当社は地域密着型のプラントを目指し、社会に貢献していきたいと考えております。